KARUIZAWA SHINANCOIWAKE CULTURE SPACE ABURAYA

信濃追分文化磁場

油や回廊

バサージュというとパリを連想する人が多いのではないでしょうか？
哲学者ベンヤミンの著作を思う人もいるかもしれません。
人が歩き、遊び、楽しむ空間としての回廊＝出会いの場所がバサージュです。
曲がりくねった旧旅館の廊下を歩くことで、時間を越えて古本に、音楽に、古美術に、絵画に、クラフトに、そしてギャラリーで開催されるイベントに、思いがけぬ作品と出会う、散策をお愉しみ頂ければと思います。

北上古盤堂

Vintage Records & Analog Audio

アナログ・レコードは音の玉手箱。60年代ロックとジャズを中心に店主のコレクションから名盤珍品を展示販売します。

醉器

「醉器」は晋段使いの器のセレクトショップです。紙部、苳間、益子などを拠点に作陶する作家や窯元の陶磁器をはじめ、ガラスの器、銅の器、漆器を取りそろえてお待ちしております。

アロマ・フェイスタ

アロマ・フィエスタは、2006年より長野県東御市八重原にて香りの豊かさをお伝えしてきました。
そして、この春よりご縁を頂きました油や回廊。
この美しい静寂の中で、皆様に日本の大地が育んだ力強さと思しみをまとった香りに触れて頂けることを願しく思います。
黒文字、匂辛夷、榎のホなど、豊かな香り速が皆様のお越しをお待ちしております。

沙庭

ART PROJECT SUTEI

旧油屋旅館エントランスホール正面の大きなガラス扉が目印のギャラリー。「日々の生活にアートを」をテーマにファインアート（絵画・版画・彫刻・インスタレーションetc）を中心に企画・展示いたします。アーティストが提案するミュージアムショップのような楽しい常設展示、美術系古書コーナーも充実、また展示作家によるアーティストワークショップなども企画していきます。お気軽にお立ち寄りください。

出島

油や本館からちょっとはみ出したように立っている小屋が出島です。晋段は雑誌系の古書を扱います。たまに小さな企画展なども。

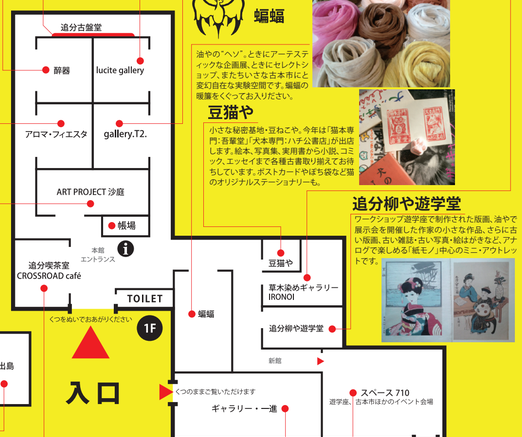
追分喫茶室

CROSSROAD Café

ここは旧油屋旅館の応接間だったところです。障子と格子戸のある昭和の雰囲気のなかで、ゆったりとした喫茶の時間をお過ごしください。

lucite gallery

ルーサイトギャラリーは2001年秋、台東区柳橋の隅田川沿いの旧市丸邸を改装しOpenいたしました。古美術品や北欧のビンテージ陶磁器の他、現代の陶芸家や染色家の作品も扱っています。2012年、夏からは油やの一室を借りて、作り手と使い手が成長しあえる実験的な場を設けています。今年は19もの催しを予定しております。お気軽にお立寄りください。



gallery.T2.

追分街道中ほどの太伊留屋（タイルヤ）がこのたび油やに[gallery.T2.]を開きました。タイルを中心に時の思い出　旅の思い出などなどを展示しております。本店ともどもどうぞよろしくお願いします。

蝙蝠

油やの"ヘソ"、ときにアーティスティックな企画展、ときにセレクトショップ、またもとな古本市にと変幻自在な実験空間です。蝙蝠の喉藤をくぐってお入りください。

豆猫や

小さな秘密基地・豆ねこや、今年は「猫本専門：吾輩堂」「犬本専門：ハチ公書店」が出店します。絵本、写真集、実用書から小説、コミック、エッセイまで各種古書取り揃えてお待ちしています。ポストカードやぱち袋など猫のオリジナルステーショナリーも。

草木染ギャラリー　IRONOI

草木染ギャラリー―IRONOIはアトリエアイズカンパニーの、常設ギャラリーです。浅間山を望む東御市八重原。爽やかな風かたる丘の上に、草木染工房アトリエアイズカンパニーはあります。自然の繊維と草木が出会って生まれる草木の色。その草木の色をまとった糸やストールが語る草木の言葉に、どうぞ耳を傾けていただければと思います。追分油やが初めてできた時期と、自然が初い尽草木の色との語り合いも、楽しみです。

追分柳や遊学堂

ワークショップ遊学座で制作された版画、油やで展示会を開催した作家の小さな作品、さらに古い版画、古い雑誌・古い写真・絵はがきなど、アナログで楽しめる「紙モノ」中心のミニ・アウトレットです。

Gallery 一進

旧旅館の食事処を改装しギャラリーにしました　当時の雰囲気を生かした空間は追分の歴史と落ち着きを感じさせます　貸しギャラリーに企画展と心に残る作品の発表を続けていきたいと考えています　情熱あふれる作家のご利用をお待ちしています　ご利用希望の方はホームページよりお問合せください。

※Gallery一進、スペース710のご利用についてはWebサイト http://aburaya-project.com/から気軽にお問合せください。

SPACE 710

厨房を取り壊して生まれたのがこの多目的空間スペース710です。部屋の周囲を本棚がくるりと囲み古本市の会場とするほか、中の空間を「遊学座」（ワークショップ）の会場として版画などの制作が可能な工房スペースとして整備する予定です。また、プロの作家のために「油や」に宿泊して工房を使用できるアーティストインレジデンスの仕組みも推進していきたいと考えています。ご期待ください。また本年より壁面スペースは阿賀文庫となります。

油やStay

中山道軽井沢追分宿で脇本陣であった旧油屋は、昭和13年に現在の位置に移転してから70年余、堀辰雄・立原道造・加藤周一に代表される文士・知識人たちが好んで執筆に利用した宿として、多くの作品の舞台となった旅館でした。平成24年に「油やプロジェクト」を開始し、その由緒ある本館2F・和室5部屋に再びお泊まりいただけるよう修復・改装をいたしました。今年もGWから約6ヶ月、素泊まりの宿として営業致します。

油や管理人　油小僧　拝

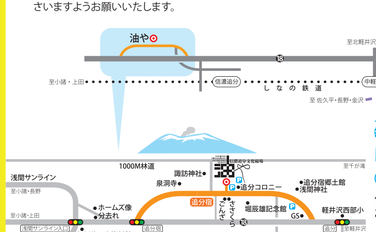
旧油屋の本館客室を整備した2F客室。
和室8帖／5部屋
一部屋1名様までご利用可能

本館沢にはかつて堀辰雄が泊まった部屋を会員資料室として保存してあります。

新しく整備された洗面所・シャワールーム

【宿泊料金など】
■一人利用料金／4,000円（2名もしくは3名で一室利用の場合）／6,000円（1名で一室利用の場合）＊連泊割引がございます。
■素泊まりのみの受付となります。（お食事のサービスはありません）■男女別トイレ、洗面、シャワー室＋ランドリー（有料）■前日までのご予約が必要です。

【お約束いただきたいこと…いろいろ】
①原則としてチェックインは14:00〜17:00、チェックアウト最終は11:00です。玄関の施錠の都合がありますので、ご帰館時間、ご出立時間について、チェックイン時にお伺いして個々に対応いたします。門限は22：30です。　②宿泊料金はチェックイン時に帳場にてお支払いいただきます。（現金のみです。事前に振込みいただけるようでしたら、口座をご連絡いたします。）③宿泊はすべて二階になりますが、エレベーター等はございません。階段利用でお願いいたします。④トイレ、洗面台、シャワーは各部屋には付いていません。宿泊階に男女別室でございます。⑤リネン類、浴衣・バスタオルはついています。蒲団の上げ下ろしはセルフサービスとなります。ハンドタオル、ランドリーは準備がございます（有料）共有の冷蔵庫もございます。⑥館内は禁煙です。⑦原則としてお子様（10才以下）の宿泊はお受けできません。階段の手すりが低いことによる安全上の理由と、防音壁が完備していないということによります。
＊旧油屋旅館の建物（築昭和13年）の保存維持を大原則としている関係で、ご不便をおかけすることも多々あろうかと思いますが、趣旨をご理解の上、ご協力下さいますようお願いいたします。



電車の場合：JR北陸新幹線・軽井沢駅下車→しなの鉄道・信濃追分駅・徒歩約25分
お車の場合：（東京方面より）上信越自動車道・碓氷軽井沢ICより約30分
（長野・上越方面より）上信越自動車道・佐久ICより約15分
高速バスの場合：東京（池袋）から信濃追分下車・徒歩5分
P 駐車場：前庭に7台、右奥に18台

信濃追分文化磁場「油や」〒389-0115 長野県北佐久郡軽井沢町追分607
お問い合せ◎油　や　帳　場 TEL.0267-31-6511
追分コロニー TEL.0267-46-8088（担当/斎藤）
http://aburaya-project.com/